

製品名: SATB2 (16T7) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17617**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:1000
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	SATB2
別名	GLSS; SATB family member 2; SATB homeobox 2; SATB2;Special AT rich sequence binding protein 2;
遺伝子 ID	23314.0
SwissProt ID	Q9UPW6
免疫原	ヒト SATB2 の合成ペプチド

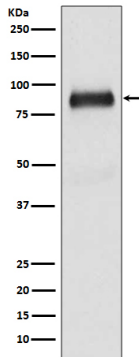
背景

DNA の核マトリックスまたは足場関連領域に結合します。二本鎖 DNA の糖リン酸構造を認識すると考えられています。DNA のマトリックス付着領域 (MAR) に結合し、局所的なクロマチンループリモデリングを誘導することで、核遺伝子発現を制御する転写因子です。いくつかのクロマチンリモデリング酵素のドッキングサイトとして機能し、コリプレッサー (HDAC) またはコアクチベーター (HAT) をプロモーターやエンハンサーに直接リクルートします。DNA の核マトリックスまたは足場関連領域に結合します。二本鎖 DNA の糖リン酸構造を認識すると考えられています。DNA のマトリックス付着領域 (MAR) に結合し、局所的なクロマチンループリモデリングを誘導することで、核遺伝子発現を制御する転写因子です。いくつかのクロマチンリモデリング酵素のドッキングサイトとして機能し、コリプレッサー (HDAC) またはコアクチベーター (HAT) をプロモーターやエンハンサーに直接リクルートします。上層ニューロン (UL1) 特異的遺伝子プログラムの開始、および深層ニューロン (DL) および UL2 特異的遺伝子の不活性化に必要であり、おそらく BCL11B の発現を調節することにより行われる。Ctip2 のリプレッサーであり、発達中の大脳皮質における皮質間結合の調節因子である。口蓋形成において重要な役割を果たす可能性がある。骨格発達および骨芽細胞分化を制御する転写ネットワークにおいて分子ノードとして機能する。

研究分野

神経科学

画像データ



Saos-2 細胞溶解物中の SATB2 発現のウェスタン ブロット分析。